

# 製品安全データシート

P. 1/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

## 1. 製品および会社情報

### 製品名

エプソンインクカートリッジ ICM22

### 会社情報

販売会社 : エプソン販売株式会社  
 住所 : 〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 24F  
 電話番号 : 03-5321-4111(代) FAX 番号 : 03-5321-4198

製造業者 : セイコーエプソン株式会社  
 住所 : 〒399-0785 長野県塩尻市広丘原新田 80 番地

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分外
人健康有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
急性毒性(吸入: 粉塵/ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外
環境有害性	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

### GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

# 製品安全データシート

P. 2/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

## 3. 組成、成分情報

### 単一製品・混合物の区別: 混合物

水溶性インクの成分表 (\* は当社の機密情報のため開示できません)

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 <sup>(1)</sup> 安衛法 <sup>(2)</sup> )	CAS No. <sup>(3)</sup>
色材 *	5 - 10	— *	— *
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	1 - 5	(2) - 436	143-22-6
有機成分 *	15 - 20	— *	— *
グリセロール類 *	10 - 15	— *	— *
水	残余	対象外	7732-18-5

## 4. 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合 : 直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けてください。
- 応急措置をする者の保護 : 特になし
- 医師に対する特別注意事項 : なし

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 化学消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法 : 吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いとおもわれます。
- 消火を行う者の保護 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 引火性 : 引火性はありません。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流してください。
- 保護具と緊急時措置 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 環境に対する注意事項 : 下水に流さないでください。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

## 製品安全データシート

P. 3/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 技術的対策 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 局所排気・全体換気 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 注意事項 : 眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。また、インクを飲まないようにしてください。
- 接触回避 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 安全取扱い注意事項 : 子供が誤ってインクを飲まないよう、子供を近づけないでください。カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが濡れていないことを確認してください。カートリッジを分解しないでください。カートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。

#### 保管

- 保管条件 : 直射日光を避け、常温常湿で保管してください。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。
- 容器包装材料 : 適用外(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

### 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 :

製品	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV <sup>(4)</sup>	OSHA PEL <sup>(5)</sup>
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

成分	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV <sup>(4)</sup>	OSHA PEL <sup>(5)</sup>
グリセロール(ミスト)	設定なし	設定なし	10mg/m <sup>3</sup>	15mg/m <sup>3</sup>

設備対策 : 必要としません。

#### 保護具

- 呼吸器の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 手の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 眼の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。
- 皮膚及び身体の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

## 製品安全データシート

P. 4/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

### 9. 物理的及び化学的性質

外観(形態、色)	: 赤色液体
臭い	: わずかな臭い
pH	: 8.98±0.7 (at 20°C)
融点・凝固点	: 有効データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 有効データなし
引火点	: 有効データなし
引火性	: 可燃物ではない
爆発範囲	: なし
蒸気圧	: 有効データなし
蒸気密度	: 有効データなし
比重(密度)	: 約 1.07
溶解度	: ∞
n-オクタノール/水分配係数	: 有効データなし
蒸発速度	: 有効データなし
燃焼性(固体・ガス)	: なし
粘度	: 5 mPa·s 以下
その他のデータ	: なし

### 10. 安定性及び反応性

安定性	: 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。
危険有害反応可能性	: 常温では反応性はありません。
避けるべき条件	: 一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。
混触危険物質	: 酸化剤、爆発物
危険有害な分解生成物	: 常温では分解しません。

### 11. 有害性情報 労働省の有害基準<sup>(6)</sup>については 16. その他を参照のこと

急性毒性

:

経口LD 50 <sup>(7)</sup>	経皮LD 50 <sup>(7)</sup>	吸入LC 50 <sup>(8)</sup>
>2500 mg/kg (ラット)	>2000 mg/kg (ラット)	データなし

皮膚腐食性・刺激性	: Non irritant (ラビット)	OECD ガイドライン No.404
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: Minimal irritant (ラビット)	OECD ガイドライン No.405
呼吸器または皮膚感作性	: なし (モルモット)	OECD ガイドライン No.406
生殖細胞変異原性	: 陰性 (エームズ試験 <sup>(9)</sup> による)	
生殖毒性	: EU 指令 1999/45/EC に基づいた危険分類に該当しません。	
吸引性呼吸器有害性	: 有効データなし	
慢性毒性・長期毒性	: 有効データなし	
発がん性	: IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ 1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。	

## 製品安全データシート

P. 5/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

### 12. 環境影響情報

生態毒性	: 環境への影響について、有効なデータはありません。
残留性・分解性	: 環境への影響について、有効なデータはありません。
生体蓄積性	: 環境への影響について、有効なデータはありません。
土壤中の移動性	: 環境への影響について、有効なデータはありません。

### 13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなってください。  
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### 14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当しません。
国連番号	: 該当しません。
品名(国連輸送名)	: 該当しません。
国連分類	: 該当しません。
容器等級	: 該当しません。
海洋汚染物質	: 該当しません。

### 15. 適用法令

消防法	: 該当しません。
労働安全衛生法 通知対象物	: 該当しません。
化学物質排出把握管理促進法 <sup>(10)</sup>	: 該当しません。
その他	: 該当しません。

### 16. その他の情報

- (1) 化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- (2) 安衛法: 労働安全衛生法
- (3) CAS No.: Chemical Abstracts Service Registry Number
- (4) ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生専門  
家会議)で定めた Threshold Limit Value(許容濃度)
- (5) OSHA PEL: Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めた  
Permissible Exposure Limit(許容暴露限度)
- (6) 労働省の有害基準: 労働省通達基発第 395 号(H 4-7-1) 化学物質などの危険有害性  
試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準
 

有害基準として: 経口毒性	: (LD 50)	500 mg/kg以下
吸入毒性	: (LD 50)	20 mg/L以下
皮膚刺激性	: 紅斑	2 以上(平均)
	浮腫	2 以上(平均)

## 製品安全データシート

P. 6/6

最新改訂版作成日: 2011年 3月 28日

ICM22

眼刺激性 : 角膜 2 以上(平均) 虹彩 1 以上(平均)

結膜発赤 2.5 以上(平均)

結膜水腫 2 以上(平均)

皮膚感作性 : 30%以上(アジュバンド有り)

変異原性 : 労働省告示第 77 号 変異原性が認められその比活性が  
被験物質 1 mgあたり 1000 以上

(7)LD50: Lethal Dose 50 50%致死量

(8)LC50: Lethal Concentration 50 50%致死濃度

(9)エームズ試験: 微生物(サルモネラ、大腸菌など)を用いる変異原性試験

(10)化学物質排出把握管理促進法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の  
改善の促進に関する法律

### <引用文献>

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に指定された通常の下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。